

## 2021年9月度(第387回)ライフサイエンス分科会

開催日時:2021年9月16日(木)14:00~15:45

開催場所:Zoom

参加人数:16名

内容:AIを活用した論文調査サービス「JDream SR」のご紹介

記入者:科学技術振興機構 堀内美穂

### 1. AIを活用した論文調査サービス「JDream SR」のご紹介

発表者:株式会社ジー・サーチ データベースビジネス部 加藤真壽美、川原 綾

(株)ジー・サーチが提供する「JDream SR(ジェイドリーム エスアール)」についてデモも交えて学んだ。

JDream SRは富士通独自の自然言語処理AIを用いた検索システムで、検索可能なデータベースは、MEDLINE(PubMed)・PubMed Central・JMEDPlusの3種類。フルテキストへのリンクがあるのは現時点ではPubMed Centralのみであるが、今後全文申込へのリンクも検討中。

従来の検索システムで検索可能な用語間の関係性は「同一パラグラフに存在するかどうか」「用語の順序を指定する」などであり、医薬品の効果の有無は文献を読まないと判断がつかないが、JDream SRでは「ある疾患」の治療に用いた「医薬品」、更にその「医薬品が有効であったかどうか」までを関連を付けて検索することができる。

指定可能な用語の種類は、疾患名、薬剤名、遺伝子名、アウトカム指標名などで、「遺伝子と疾患」「遺伝子と薬品」「遺伝子変異と疾患」「疾患と医薬品」等々の組み合わせについて指定ができ、関連度が高い文献がヒットする。

その他の機能として、

- ・複数条件を指定する詳細検索
- ・ヒットした文献の抄録中の重要表現のハイライトとその関係性の可視化
- ・集計機能(ランキング)

などがある。

以下のような質疑応答があった。

Q:略語として表記されている場合でもヒットするのか。

A：使用している辞書に略語が登録されていたり、AI が同一と判断した場合にはヒットする。

Q：集計の有効、無効の数は薬剤とリンクしているのか。

A：薬剤とリンクしている数である。

その他、データの Export、印刷方法、検索履歴の保持制限について質問があった。

<参考 URL>

・ JDream SR の無料トライアル申込サイト

[https://jdream3.satori.site/sr\\_trial\\_application](https://jdream3.satori.site/sr_trial_application)

・ JDream SR のオンラインセミナー

[https://jdream3.com/lp/jdream\\_sr/](https://jdream3.com/lp/jdream_sr/)

2. 次回以降の予定

10月：休み 11月 18日（木）

【内容】 学術論文のバージョンとプレプリントをめぐる動向（国立情報学研究所 尾城孝一氏）

以上